

二部地区活性化だより

野上川の風

山里担い手育成事業情報紙

編集発行／

日野地方農林振興局

日野農業改良普及部

二部地区活性化推進機構

溝口町 二部公民館



●溝口町福祉センタークリスマス会(H.11)福祉センター提供

高齢化を支え合う

だれんも思う
ボケないように
どうか健やかに老いたいと
そのための
大事にしたい 健康管理
大切にしたい 人との交流
たゆまぬその 実践が
やがて 老後に実を結ぶ
春からの 介護の制度
それを支える 地域の福祉
寝かされたきりに やめ介護
生かしてゆきたい 年寄りの
貴重な知恵と 特技が定番
家族と 地域の皆んなして
高齢化時代を 支え合う

この道は
避けて通れぬ 道だから
だれんも通る 道だから

高齢化の目安「高齢化率」は、総人口に占める六十五才以上の人の比率を言う。
ちなみに直近(H.12.9.1)の数値は次の通り、二部地区三三・四二%
溝口町三〇・三二%となっている。

活性化機構 二年目の取組み

●副会長 白根 暢 之

今年は記録的な猛暑で、八月末には気温が三十七度という日もありました。収穫の秋を迎え水稲はかなりの豊作が予想されますが、素直に喜こべないのは淋しいことです。

本機構は七月に委員総会を開き、本年度の事業につき協議決定しました。

主なものをあげると、特産物として（景観形成もかねて）ネパール原産の赤花ソバを試作することにし、地区内5ヶ所で種を播きかなり成長し、美しい花が咲き揃うのも近いことでしょう。上下水道整備事業の促進については町当局と折衝を続け早期の実現を期し、ゴミなどをなくす環境の整備にも取組みます。旧二部中学校で続けられた駅伝のコースを近く整備し、なつかしい散策の道として利用したいものです。高齢者・障害者等への支援、青少年の健全育成につとめ、年間の最大行事たたらまつりには全面協力し盛り上げます。

このように徐々にではありますが、わが郷土が少しでも住みよく活性化するようにつとめます。皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

こうやります 今年の行事

七月二日の委員総会において、活力ある住みよい地域づくりを目指して十一年度の事業計画が、次の通り承認されました。

平成十二年度事業計画

●総務部会

- 1 会報「野上川の風」の発行（第3号の発行）
- 2 委員視察研修の実施（岡山県高梁市宇治町）
- 3 むらづくり講演会の開催（一般対象）

●産業振興部会

- 1 赤花ソバ「高嶺ルビー」試作（特産品の育成と転作物景観形成作物として定着させることを目的に5箇所を試作）
- 2 山菜の栽培講習会による地域特産物の育成

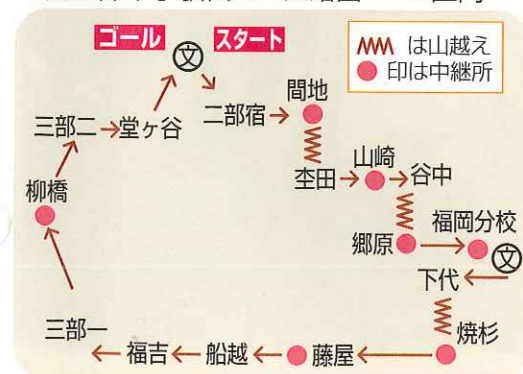


咲き始めた赤花ソバ（福吉）

●住みよい環境部会

- 1 上下水道整備事業の促進（住みよい生活環境の整備）
 - 2 分散集落での合併処理浄化槽の普及と啓発活動（下水道事業の実施が難しい地域で実施）
 - 3 道路・河川周辺の一斉清掃活動の実施と参加の呼びかけ
- 趣味と生きがい部会
- 1 「たたらまつり」に全面協力
 - 2 園芸講習会の開催
 - 3 鳥取県立博物館「辻 晋堂特別展」の視察鑑賞（二月中旬）

旧二部中学駅伝コース略図 -8区間-



●健康スポーツ部会

- 1 町民運動会に協力（2000年記念大会として全町民運動会が開催されます）
 - 2 健康講演会と二部地区ウォーキングの実施
 - 3 旧二部中学校二部地区一周駅伝コースの整備（現在山道はほとんど荒れて通行不能の状態となっている）
- 福祉ボランティア部会
- 1 高齢者・障害者に協力支援
 - 2 青少年健全育成の手伝い 小学校行事への協力



二部小 学校田の稲刈り風景(H.12.9.13)

アンケート調査の結果(その2)

会報第二号に紙面の都合で掲載できなかった項目を今回発表します。

「問一五」で「あなたが二部地区でこれまでした遊びや食べもので、懐かしいものをいくつか書いて下さい。」との設問に対する複数回答は、延べ一、五〇〇余に及びました。これを整理して上位一〇位までの順番を第一・二表に示します。

遊びについては、魚とり(釣り)や水(川)遊びが男女ともに多く、川に関連したあそびが上位を独占しています。続いては山に係る山あそび(登り)・山菜、きのこ狩りときて、女性のお手玉が五位にランクされました。これら懐かしい遊びの大部分が、二部地区の恵まれた自然環境、即ち清らかな

河川や美しい野山にかかわっていることが注目されます。しかし、今の野上川を始め地区内の川は、身の丈を超えるヨシが生い茂り、ビニール、ポリ製品や空き缶のポイ捨てが目に残ります。とても川遊びのできる環境ではありません。水泳はプールか川か論議は別としても、家庭排水を含む下水道の整備を急ぐことや、川をきれいにする住民意識の昂揚が肝要です。

次に懐かしい食べものについての上位ランクは第二表の通りです。これまた自然の恵みともいえる野いちご、あけび、柿、栗、そして山菜、きのこが続きます。これらの食べものは、何れも年齢の高い層の意見と思われませんが、永年にわたり受け継がれてきた地域の

二部公民館から

●二部公民館長 安達 允

食文化が、いま消失しようとしています。なにかの手だてが必要ではないでしょうか。考えさせられる課題です。

昨年活性化機構が発足し、公民館と表裏一体となって活動していただいております。本当に心強く有難いことです。

公民館は二部地区のセンターとして少しでも皆さんのお役に立ちたいと念願しております。施設もかなり整いましたので、会合などに大いにご利用下さい。どうか気軽に立ち寄り、何でも遠慮なくご相談下さい。

ご承知の通り公民館には多々楽学園や女性学級それに約一〇の同好会があり、それぞれ活発に楽しく活動が続けています。どなたでも大歓迎ですので、まだのお方はぜひご参加下さい。一般行事も多く行いますが皆さんのニーズにこたえるようにしており、たとえば盆花アスター作りは大成功で、参加者には喜んでいただきました。やってほしい行事とか注文があれば、遠慮なく



たたらまつり(H.12.2)

お聞かせ下さい。
年間最大の行事は冬に行う「たたらまつり」で、今年は十七回目です。例年の展示や発表に加え郷土出身の大書家「故 山根溪石先生」を取り上げることにになり、先目ゆかりの方々へ相談していただきました。作品の単なる羅列ではなく、幼少の頃から写真・知友への書簡・福岡神社関係その他数々の資料も展示し、人となりや大成されるまでの軌跡をたどり、当地ならではの特色ある親しみ易いものにしたと話し合っております。溪石先生を再認識していただくようになります。作品や資料の出品等について格別のご協力をお願いすることもあろうかと思いますが、よろしくお願い致します。またこの山根溪石展についてご提言があれば、率直にお聞かせいただければ幸甚に存じます。

第1表 問15 懐かしい遊び

順位	遊びの種類	回答数
1.	魚とり(釣り)	141人
2.	水(川)あそび	73
3.	山あそび(登り)	28
4.	きのこ狩り	21
5.	お手玉	19
6.	山菜とり	14
7.	野球	10
8.	缶けり	8
9.	かくれんぼ	8
10.	栗ひろい	7

第2表 問15 懐かしい食べもの

順位	食べもの	回答数
1.	野いちご	50人
2.	あけび	35
3.	柿	23
4.	栗	23
5.	山菜	22
6.	きのこ	17
7.	桑いちご	15
8.	ごぶいちご(グミ)	12
9.	ざくろ	9
10.	いちぢく	7

暮らしよい訪れてみたくなる

二部の里づくりに向けて

日野農業改良普及部

「住めば都」とよく言われます。自分の住んでいるところは良いところか、思えてくるという意味でしょうか。しかし、思えてくるのではなく、良いところだと自信を持って言えるところでありたいと思うのであります。そのためには暮らしよく、活力があり、誇りのもてる地域でありたい。どんなことをしたらそんな地域になっていくのだろうか。

その住む人たちが、そこに誇りを持って人々がみんなで考え、知恵を出し合い、語り合い、合意を形成して、具体的に行動していく、そんな住民参加型の地域づくりに取り組む必要があるのではないだろうか。

人材育成塾の地域活性化に 果たす役割と取り組み方

いま、地域づくりのための人づくり、特にリーダーの育成に関心が高まっている。全国各地で人材育成塾が開催され、地域づくりの推進役を果たしている。そこでの活動は独習、集団学習、実践活動が同時並行的に推進されている。

塾の構成メンバーは年齢、性別、職業を問わず、バラエティに富んでいる

方が望ましい。多彩な顔ぶれと交流は、塾を活発にし、人づくりの効果を向上させる。男女の構成では女性が多いほどよい。継続的に取り組む力は女性に男性に勝っているからである。女性が変われば地域が変わるといわれている。肝要なことは「多きを語らず、少なきを嘆かず」の心構えと、継続して行うことである。

塾の三原則

- 一 楽しくなければ塾ではない。
- 二 参加(発言)しなければ塾ではない。
- 三 進歩がなければ塾ではない。

地域リーダーの要件

- 一 地域への愛情と未来に向けての信念と、明るい展望を持つこと
- 二 地域の個性を発揮する豊かな行動力
- 三 失敗を恐れぬ果敢な行動力
- 四 仲間と助け合う協調性

四つの『ち』を追究しよう

- ・ ぐち(愚痴)をやめること
- ・ 無知から脱却すること
- ・ けち(力の出し惜しみ)であって
はならない
- ・ やきもち(ねたみ、嫉妬)は無用

森 巖夫 他 著「地域づくり読本」より地域づくり活動のあり方や心構えなどについて重要なポイントを抜粋してみました。地域づくり活動は時間をかけて継続的に取り組む必要がありますが、そのためには参加する人にとって楽しい活動でなければなりません。リーダーは参加しているという実感がもてるよう配慮する必要があるでしょうし、参加者は仲間との協調を考慮しながら積極的に行動する心構えが重要になってきます。

継続は力なりという言葉もあります。

二部地区の皆様の楽しい地域づくり活動に期待します。

(主幹 清水 志郎)



野菜づくり講習会 (H.12.6.8)

活動日誌メモ

平成十二年

(月 日) (内 容)

- | | |
|-------|--------------------------|
| 三、四 | たたらまつり反省会 |
| 三、九 | 会報編集委員会(第二号) |
| 三、一七 | 役員会(事業計画)と会報配布 |
| 三、三〇 | 産業振興部会(事業計画) |
| 三、三〇 | 健康スポーツ部会(同右) |
| 四、五 | 福祉ボランティア部会(〃) |
| 四、一三 | 総務部会(〃) |
| 四、一六 | 住みよい環境部会(〃) |
| 四、二二 | 趣味と生きがい部会(〃) |
| 四、二七 | 役員会(事業計画の調整) |
| 六、八 | 野菜づくり講習会 |
| 六、一〇 | 旧一部中学駅伝コース下見 |
| 七、二 | 委員総会(事業会計報告、事業計画と予算審議) |
| 七、二 | むらおこし講演会(宇田川公民館) |
| 八、三 | ソバづくり講習会(森田京子主事) |
| 八、八 | 総務部会(会報発行について) |
| 八、三〇 | たたらまつり実行委員会(山根溪石遺作展について) |
| 九、一一 | 会報編集委員会(第二号) |
| 九、一二 | ソバ展示圃巡回指導 |
| 一〇、上旬 | 会報第三号発行 |